

8 がっひかりごう

令和元年8月1日 輝保育園

ようやく梅雨も明け、夏らしい毎日が続いています。前月は、気温が上がらず、楽しみなプールも入れずにいましたが、今月は、存分に遊び、水と仲良くなりたいと思います。プール遊びを通して、着替えや、持ち物の管理等が充実してきます。降園後、「水着を洗濯かごに持っていく」等、子どもが出来る事をご家庭でも取り組まれて下さい。習慣となり、自信にも繋がる事でしょう。

【夏祭り】

皆が楽しみにしている夏祭りです。

日時 8月24日(土)
17:00 ~ 19:00(予定)

場所 輝保育園 園庭
綿菓子、かき氷、ポップコーン等
色々用意しています。
ご家族皆様でお出かけください。



★ お盆 ★

お盆とは、先祖の精霊を祀る期間のことです。

お盆では、先祖の精霊を迎える「迎え日」、精霊が家庭で過ごす「中日」、精霊を送り出す「送り日」に分けられます。

先祖を敬い、家族を大事にする日本の伝統を受け継いで、お盆の時期を過ごしたいものです。



= 8月の行事予定 =

- 1日(木) 避難訓練
- 5日(月) 異年齢児交流会
(卒園児との交流会)
- 13日(火)
- 14日(水)
- 15日(木) } お盆
- 23日(金) 身体測定、お誕生会
- 24日(土) 夏祭り

《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. 投薬依頼がある場合は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認して下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 生活習慣 ☆☆

- ～ 生活習慣は育ちの基礎 ② ～
2. 生活習慣づくりは幼児期から始めましょう！

生活習慣は、大きくなれば自然に身に付くというものではありません。

親の正しいしつけによって形成されます。

「鉄は熱いうちに打て」という諺がありますが、幼児期からしつけていき、遅くとも9歳頃までには身に付けさせるようにしたいものです。

時機を逸すると簡単なこともできなくなり、心身の発達に望ましくない影響が出てくるからです。

3. 親の忍耐力・姿勢が大事です！

生活習慣は、「〇〇を下さい」と口先だけで言うことができるようになるものではありません。

例えば、早く寝るためには家の中が静かであることも必要です。

親が子どものために環境を整えようとすると、子どもをリードし、言われなくても自発的にできるようになるまで同じことを毎日くり返すことが大切です。

その意味では、親の忍耐力が問われます。

また、子どもは「親の後ろ姿を見て育つ」という言葉があるように、親の生活態度・習慣が子どもの生活習慣の形成に大きな影響を与えます。

親自身も自分の生活を見直しましょう。

「教育力向上福岡県民運動
ホームページ」より抜粋

= ナース・レポート =

昨年は、猛暑日や真夏日となる地域も多く、各地で40℃を超える気温が観測されました。

気温が上がると、子どもの熱中症や脱水症などが気になりますが、脱水の徴候とはどんなものなのでしょう？

暑い時に汗をかいたり、胃腸炎で嘔吐や下痢をしたりして体重が2%減少すると、どの渴きを自覚します。

見た目に調子が悪そう、目が落ちくぼんでいる、頻脈(脈が速い)、多呼吸、皮膚の緊張低下、手足が冷たいといった症状が見受けられた時には、体重の10%以上の水分が失われ危険な状態です。

水分補給は、喉の渴きを自覚してからでは遅すぎます。

一度に大量の水を摂取すると、かえって体内の電解質のバランスが崩れ体調不良を引き起こします。

水分補給をする時は、あわせて塩分の補給も行いましょう。

こまめな水分摂取を心掛けて、熱中症や脱水症を予防しましょう。

少年写真新聞社
「たのしく食べよう」より抜粋

こどもものようす

たんぽぽぐみ 0才児



保育参観へのご協力、ありがとうございました。観ていただきましたように、最近の給食では、「いただきます」のご挨拶と同時に、手づかみで食事を楽しむことがほとんどです。この手づかみ食べは、発育・発達段階において、とても重要な行動と言われています。食べ物を触ったり、握ったりすることで、その固さや触感を体験し、食べ物への関心につながり、自らの意志で食べようとする行動につながります。また、目で見えた物の正しい位置へ手を伸ばし、手に取り、口に運ぶことで目と手と口が連動する動作を育てます。この経験をたくさんすることで食物の性質を知り、自分に適した一口の量が分かるとも言われています。子どもが満足するまで手づかみ食べをすると自然にスプーンを使いたくなったり、スプーンやお箸を上手に使うことにもつながります。

たんぽぽぐみ 1才児



友達に興味が出てきたり、自己主張が強まったりしてきた1才児さん。まだ、友達とのかかわりが上手く持てない事も多く、その都度、両者の気持ちを代弁し、かかわり方を伝えていっています。また、自己主張が強まり、イヤイヤと拒否をしたり、何でも自分のものにしてしまいたいという気持ちが多くなったりもしています。自分のことを、大切にしてほしいという思いが強いこの時期、十分に受け止められる事で、今後、自分の事を、一番に考えながらも、他人の言う事も聞いてみようという気持ちが育っていきます。その中でもいけない事はいけないと伝える事は必要なことなのでしっかりと伝えていきます。家庭でもイヤイヤという姿が増えてくると考えられます。大変な時期ではありますが、子どもたちの成長の大切な一過程です。一緒に頑張っていきましょう。

すみれぐみ 2才児



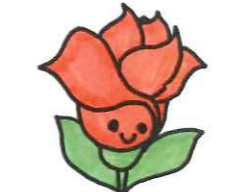
ようやく梅雨が明け、水遊びが楽しめるようになりました。子ども達も「今日、水遊びする？」とワクワクしています。4月から、2才児での基本的な生活習慣の確立を目指して取り組んでいます。その一つが着脱です。プールや、水遊びの準備では、楽しいことが待っている喜びから、目を輝かせ意欲的に着脱に取り組む子どもたちです。汗をかくようになり、脱ぎにくそうですが、最後まで諦めずに粘り強く頑張っています。難しいところは、さりげなく手伝うことで「自分で出来た！」という喜びと達成感が感じられるよう関わっています。この喜びが、自信となり「もっとやってみよう！」という意欲に繋がります。ご家庭でも、すべてを手伝うのではなく、子どもの頑張る姿を見守り、出来た喜びを共有し、自信と意欲につなげてください。

ちゅうりっぷぐみ 3才児



プール活動では、顔つけの練習を行っています。手の平にすくった水の中に口をつけブクブクと息を吐き、顔を上げた瞬間「パッ！」と吐ききることがポイントです。始めは、水が顔にかかる不安や怖さを感じ、緊張している姿も多く見受けられましたが、顔つけの練習を繰り返す中で、コツを掴み始めています。自分の進歩は、誰よりもその子自身が強く感じており「できた！」と喜ぶ瞬間は、心にも自信が芽生えています。苦手なことにも挑戦する前向きな気持ちや、できるようになった自分への手ごたえなど心の成長を大切にしていきます。遊びの時間では、体全体を使ってダイナミックに遊ぶ子やプールの隅で水の感触を楽しむ子など、水への関わり方はさまざまですが、プール終了後は「楽しかった！」「またしたいね！」という気持ちが言葉や表情に溢れています。

ばらぐみ 4才児



保育参観、ご協力ありがとうございました。プールが始まり、水の冷たさに歓声が響き渡っています。ばら組では、水に顔をつけられることを目標に少しずつ取り組んでいます。「ブクブク(口を尖らせながら息を吐く)、パッ!(息を吐きながら口に水が入ってこないようにする)」を合言葉に練習しています。ある日のことです。一人の子が「先生、見よって！」と顔を水につけていました。「〇〇ちゃん凄い！お水にお顔つけたね」と保育者が言うと、「私も出来るよ！」と複数の声が聞こえました。その中には、顔を水につけることを怖がっていた子もいましたが、お友達と一緒に出来ました。周りの目が気になり始め、競争心が芽生える時期だからこそ、挑戦する気持ちを大切に仲間と刺激し合いながら過ごしていきたいと思っています。

ひまわりぐみ 5才児



心待ちにしていたひまわりの花が咲き、背の高さに子ども達は大喜びです。しかし、花に蜂がたくさん寄ってきていることに気づき、「静かに見よう」と声をかけ合って気をつけながら見ていました。野菜の収穫では上手く切り取ることができない子がいると、「もっと上の細いところを切ればいいよ」と自分が体験して分かったことを友だちに教える姿が見られます。自分たちで栽培し、収穫した野菜はとても美味しく「嫌だったけど食べられるようになった」と野菜嫌いを克服した子もいて、野菜の栽培がとてもよい経験になっています。また、とても楽しみにしていたプールの活動はあまり実施することができませんでしたが、約束をしっかり守りながら楽しく参加しています。苦手でも友だちに刺激を受けながら、自分なりに挑戦しようとする姿に心の成長を感じます。